

放課後等デイサービス事業者評価表

	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	2	児童の人数が多いため、何部屋かに児童を分けて過ごす方が好ましいと思うが、壁に一度外に出ないと行き来出来ないようになっているため、飛び出しの危険や脱走の危険がある児童がいる際は、なかなか移動することができない。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	2	4	0	送迎に行く学校が多く、また範囲も広い為送迎に出る職員が多い時間は、必然的に少人数の職員で対応しなければならず、ケガやトラブルなどがあつた際には対応が難しいのではないかとと思うことがある。可能であるなら、送迎の協力をお願いできるとよいと思う。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	4	1	トイレが2か所とも段差を上げて入らなければならず、今は身体的に不自由な児童がいないため、問題はないがケガ等で足など不自由があると利用が困難だと思われる。可能ならばバリアフリーなトイレが欲しい。また、児童数に対してのトイレの数が少なく、トイレ待ちの列ができることがある。トイレで失敗する児童もいることを考えると、もう1か所トイレが欲しい。2部屋あるため活動するには十分な広さがあるが、間に壁があり、移動の際には外に出る必要がある。飛び出しのある児童もおり、鍵の開け閉めには注意してはいるが、外に出ないと隣に行けないというのは危険であり、不便である。賃貸物件なのでどこまでできるかわからないが、可能であれば入り口を作ってもらえたらありがたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	0	完全に分かれて活動すると別室の様子が全く分らず、有効に使用することができていないと感じる。壁の一部に窓や扉を付けることができれば、もっと活動部屋を活用することができると思う。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	1	大きな空間の部屋化、利用目的が決まっている部屋しかなく、突発的に個室が必要になった際に過ごせる部屋がない。また、体調不良児童や他児童と同じ空間に入れない児童が過ごせる部屋がなく、事務所ですごしてもらっている。部屋に設置できる防音室のような空間があると何かあつた時にも活用できるように思う。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	2	2	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1	3	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	2	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4	2	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	3	2	高岡市ではあまり相談支援事業所やその他の事業所との交流の場がなく、児童の事で何か支援が必要な時にあまり円滑に行えていないとは思えない。そのため、もっと外部での研修等に参加しつながらを作っていきたいと思う。また、施設内での研修においては、事業所間での考え方の違いを大きく感じることもあり、実際の支援において参考になると感じる事があまり多くない。それよりは、SST活動のスキルを身に付けたり、児童心理カウンセラーのような直接支援に有効になりそうな資格を取りたい。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	1	4	1	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	2	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	2	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1	2	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	3	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	2	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	2	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	2	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	1	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	1	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	1	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	1	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	2	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	0	2	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	0	3	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	2	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0	1	5	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	2	1	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	3	3	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	2	4	就職してからそのような対応が必要な児童がまだいたことがない。あまり外部との連携がそこまでないと思う。必要があればもちろん対象児童の相談支援専門員や学校と情報を共有するが、日ごろから色々ななかかわりがあるかと言われるとない。送迎においても知らせてくれる学校もあるが、時間や場所等の変更があっても、保護者の情報を待つしかないことが多い。もっと児童の様子について情報共有をする機会を増やすことができればよいと思う。地域との交流については、ご近所の方にゴミ捨てなどの協力をしてもらっているため、子どもたちと一緒にお礼に行くなど関わることがあるが、同年代の子どもたちについては関わることはない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	4	2	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	1	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	2	3	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	2	迎えにくる保護者には、児童の様子を伝えやすいが、チップスの送迎で自宅に送り届ける児童の場合、保護者と話す時間がなかなか取れず、情報共有がしにくい状態である。より共有しやすい環境設定が必要だと思われる。

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	2	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	3	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	2	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	0	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	0	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	0	3	保護者が迎えに来た際にきょうだいが来た場合は、必ず声をかけ一緒に活動に参加してもらったり、活動で渡したものをきょうだいにも渡したりという対応をしている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	3	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	1	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	0	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	2	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3	2	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2	1	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	0	避難訓練については、児童に対して定期的に行っているが保護者に十分に伝わっていない。また、災害の際の伝言板や避難場所等についても十分に周知できているとは思えない。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	1	2	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	0	4	食物アレルギーの児童がいないため、対応したことがない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	0	安全には十分配慮しているつもりだが、物の配置やコーナーカバーなどもっと安全に配慮する必要がある場所があると思う。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	1	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	1	毎月1人1枚ヒヤリハットを提出しているが、ただ作成するだけが目的になってしまっていると感じられる。危険を未然に防ぐために作成して話し合いをすることはもちろん大切だが、毎月職員の数分作成することはネタ探しのようになってしまい、意味がないのではないかと。それであれば、例えば各事業所内で毎月1つ、支援に悩んだ児童について話し合いを行い、まとめたものを提出する方が有意義ではないかと考える。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1	3	2		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	0	4		